

令和4年11月4日

医療安全担当者様

公益社団法人兵庫県看護協会阪神北支部
地区理事 菅村 幸代
医療安全委員会

「第2回 医療安全担当者交流会」のご案内

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は兵庫県看護協会 阪神北支部の運営につきまして、ご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

当委員会では、「阪神北支部地域の医療安全の推進」と活動目標を掲げ、医療安全の質向上と相互支援のためのネットワーク構築を目指した活動を継続してまいります。

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、第1回 医療安全担当者交流会をオンラインにて9月22日に開催いたしました。ご参加いただいた施設の皆様のご協力に感謝申し上げます。

つきましては、第2回交流会も下記の通りオンラインで開催致します。本来なら各施設の医療安全担当者様に対面で意見交換し情報を共有していただきたかったのですが、新型コロナウイルス感染予防の観点からオンラインでの開催と致します。オンラインではありますが、各施設の医療安全担当者の皆様がお互いに意見交換や情報共有を行い、有意義なネットワーク作りの場にしたいと考えております。

何かと業務繁多の折とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：令和4年12月22日（木）14：00～16：00

形式：オンライン受講（Zoom）

テーマ： 「効果的なインシデントレポートの活用」

- 1) インシデントの分析時の工夫や対策
- 2) Good Job レポートについて
- 3) 日頃の困りごとについての意見交換

対象：阪神北支部内の医療安全担当者 上限20名

※定員超過の場合は、お断りのご連絡を差し上げます。

申込方法

- ・オンライン研修サイト [manaable\(https://hna.manaable.com\)](https://hna.manaable.com)にログインしてからお申し込みください。
- ・オンライン研修サイト [manaable](https://hna.manaable.com) からの申し込みが難しい場合に限り、同封のFAX申込用紙をご利用ください。

申込締切：令和4年12月2日（金） 16：00

問い合わせ先：兵庫県看護協会 阪神北支部 医療安全委員会

担当：長澤 眞弓（兵庫医科大学ささやま医療センター）

連絡先：079-552-1181 FAX 079-552-5010

以上

FAX 送付先：079-552-5010

* マナブルからの申し込みが困難な場合のみ FAX での受付とさせていただきます。

「第2回 医療安全担当者交流会」参加申込書

テーマ

『インシデントレポートの活用』

- 1) インシデント分析時の工夫や対策
- 2) Good Job レポートについて
- 3) 日頃の困りごとについての意見交換

日時：令和4年12月22日（木）14:00～16:00

※定員20名で締め切らせていただきます。（先着順）

1. 申し込み者名：_____

2. 施設名：_____

3. 所属部署：_____

4. 連絡先（住所）：〒_____

勤務先 TEL：_____（_____）

FAX：_____（_____）

参加申込者

所属部署：職種	氏名	医療安全担当	看護協会
		専従・専任・委員 (○を記入してください)	会員・非会員 (○を記入してください)
メールアドレス（※誤りがないよう <u>明確</u> にご記入ください）			

グループ分けの参考にさせていただきます。以下の質問にお答えください。

1. 病床数（_____）床

2. 議題になるようなご質問や困りごと等がありましたらご記入ください。

* 要点のみ記入し、個人情報にはくれぐれもご注意ください。

兵庫県看護協会 阪神北支部 医療安全委員会

担当：長澤 眞弓（兵庫医科大学ささやま医療センター）

連絡先：079-552-1181 FAX 079-552-5010

締め切り：令和4年12月22日（金）16:00

2022年度 看護協会阪神北支部 医療安全担当者 第2回交流会資料

登場人物

- A さん : 91歳 男性 不明熱に対し精査目的で入院。
軽度認知機能の低下があり、センサーマットを使用している。
- B 看護師 : 看護師歴 20 年。夜勤帯に A さんを担当していた。
- C 看護師 : 新人看護師。A さんとは別チーム。

事例の内容

入院 7 日目の午前 4 時頃、B 看護師は A さんに付き添い、病棟南側のトイレに行った。B 看護師は、他患者の対応があるため、C 看護師に A さんの対応を依頼した。

依頼を受けた C 看護師はトイレの前で待機していたが、今までトイレからナースコールの協力が得られていたため、ナースステーションで待機した。

廊下から、物音と「助けて」という声が聞こえたため向かうと、トイレ前の廊下で右側を下にして転倒している A さんを発見した。「尻もちをついただけで、頭は打ってないよ。」と話される。外傷や打撲痕はなく、四肢運動は良好であった。当直医師へ報告し診察の結果、経過観察の指示を受けた。

翌日、腰痛を強く訴えるためレントゲン撮影を実施したところ、腰椎圧迫骨折を認めた。